



学校だより

市川市立稲荷木小学校

# 梨の花



HP QR コード



令和6年9月2日 第5号



「やさしく・かしこく・たくましく」

～子どもが夢を持ち、仲間と共に未来を切り拓く力を育む学校～

## パリ五輪 千葉ゆかりの選手

### 「感動ありがとう」 8人表彰台

長かった夏休みも終わり、今日から2学期が始まりました。まだまだ朝から暑い日が続きますが、子供たちは1学期同様、元気に挨拶をしながら登校して来てくれました。今年は例年以上に暑い日が続き、全国各地で猛暑日の記録更新や熱中症により病院に搬送されたことなどが連日報道されていましたが、本校の子どもたちは大きな事件・事故に巻き込まれることもなく、健康・安全に過ごせたことを何よりもうれしく思います。

さて、7月26日から熱戦が続いたパリ五輪は8月11日に閉幕しました。千葉県ゆかりのアスリートのうち、混合競技も含めると8人が表彰台に上がりました。

同県八千代市出身で柔道女子48キログ級の角田夏実選手は得意のともえ投げを繰り出し、日本勢第1号の金メダルに輝きました。柔道混合団体でも、鮮やかに一本勝ちをしました。同県浦安市を拠点とするチームに所属する柔道男子60キログ級の永山竜樹選手も銅メダルに輝きました。体操ニッポンのエースの橋本大輝選手、谷川航選手、主将の萱和磨選手の3選手は順天堂大を卒業、体操の男子団体総合で2大会ぶりに世界の頂点に立ちました。橋本選手はインタビューで、「パリではなにより団体で金メダルを取りたい」と強い覚悟を示していました。まさに有言実行でした。東海大浦安高校を卒業、柔道男子100キログ級のウルフ・アロン選手は、柔道混合団体で銀メダルを手に入れました。スポーツライミング男子銀メダルの安楽宙斗（そらと）選手は柔道の角田選手を輩出した県立八千代高の3年生です。持ち前の長いリーチを生かして軽やかに壁を登り、世界の頂にあと一歩まで迫りました。松戸市出身でレスリング女子50キログ級の須崎優衣選手は、3位決定戦に勝ち、銅メダルを持ち帰ることができました。惜しくも今回、メダルには届かなかった、松戸市出身の村竹ラシッド選手は陸上110メートルハードルで5位入賞の快挙を果たしました。

一心に頑張る選手の方々の姿には、やはり心動かされることが多々あり、感動された方も多かったのではないのでしょうか。現在、パラリンピックが行われていますが、オリンピックと同様に多くの感動があります。一人一人の選手に、それぞれのドラマがあり、オリンピック・パラリンピックまでの日々の積み重ねがあります。何度も試練があり、挫折があり、諦めそうになりながらも立ち上がり練習を積み重ね臨んだ本番です。そこで結果を出せる選手もいれば、残念ながら結果を出せない選手もいます。また、ライバルである選手同士が互いにリスペクトし、讃えあう姿も感動的です。そういった様々な選手の姿を通して、子供たちもなにかを感じ、より多くのことを学んでほしいと思います。

生きていく中で、なにかしらの試練があるのは当たり前です。それを乗り越える力を身につけ

なければ生きていけません。そのためには、やはり、どんな時代であろうと、努力や忍耐は必要であると思います。お子さんが可愛ければ可愛いほど、自分で自立していく力をつけることが必要ではないでしょうか。ご家庭でも、オリンピックやパラリンピックを通して、困難に立ち向かっていくことの大切さ等にお子さんが気付けるよう、ご家族団らんの話題にするのもいいと思います。学校でも、この貴重な機会を通して、子供たちの学びを深めたいと思います。

9月からも引き続き、本校教育へのご理解・ご協力を賜りますようよろしくお願いいたします。

## 学校教育目標と学校教育活動のつながり

### ○生徒指導の機能を活かした学校づくり

昨今、大人たちの本音と建て前を見抜く時期となる高学年の学級崩壊は全国的に問題になっています。そんな中で本校は下級生の手本となる、落ち着いた高学年の状態が続いています。これはひとえに協力的な保護者と地域のおかげですが、学校でも生徒指導の充実を目指し3つのことを心がけています。①子供が自分で考え、判断して実行できる場面を意図的に設定します。②個別性や独自性を大切にします。③お互いに認め合い、学び合うことができる共感的意識を育てます。

「命を大切にしたい安心・安全な学校づくりの推進」は、本校の学校経営方針の一つであり、その中で「いじめ等の問題行動の早期発見、早期解決」については、今年度の重点事項に掲げています。本校では、全教職員による「学校いじめ防止基本方針」（本校HP参照）の共通認識の下、一人一人が活躍し、認められ、自己有用感を味わうことができる「心の居場所がある学級づくり」や「わかる・できる喜びを味わわせる授業」を展開することで、いじめの未然防止に努めております。また、日々の子供たちの行動観察や定期的な「友達を大切にしようアンケート」（本校独自作成）等を通じて、いじめの早期発見に努めております。さらに、「いじめ」は子供たちが自らの手でその根絶を目指していくことが大切となります。そこで今後、子供たちが中心となり、いじめの根絶を目指した全校での取組を検討してまいります。

また、校内にはいつでも相談できるようにポストを2か所設置しています。

学校は今後も、455名の子供たちが、誰一人つらく悲しい思いをすることなく、安心して生活することができるよう、いじめの根絶を目指して努めてまいります。



ゆとろぎのお部屋前の廊下に設置してあります。

保健室前の廊下に設置してあります。



★学校はいつでも教育相談を受け付けています。小さな心配でもご相談ください。

9月、10月のスクールカウンセラー相談日は 9/24、10/22となります。

★学校のホームページにあります、ブログを毎日更新しております。学習の様子や学年行事等、お伝えしてまいりますので時間のある際にご覧ください。